

# ツバメのねぐら入り観察会

## —集団営巣も観よう—

ツバメは、春にフィリピンなどの東南アジアから渡ってきて、晩夏に南の国に渡っていく日本の代表的な夏鳥です。私たちにとって身近な野鳥であり、害虫を食べる益鳥として見守られてきたツバメは、近年巣を造る建物の減少やカラスの被害などで個体数が減少の危機にあると言われています。民家などの軒下でひなを育てる様子やえん尾で上手にバランスをとって空中を飛びながら虫を捕まえる様子はよく観察されていますが、ツバメが集団で眠る「ねぐら」の習性は余り知られていません。大阪府下では、ツバメのねぐらは淀川のヨシ原をはじめ、ここ堺市美原区の「今池」など7~8ヶ所でしか観られません。巣立った若いツバメや子育てを終えた親ツバメが渡りを始めるまで、河川や溜池のヨシ原で夕暮れになると集団で「ねぐら」をつくり、夜を過ごします。

受付後、皆で北野田駅の東隣りのスーパー・マーケットの軒下の集団営巣を観察した後、路線バスに乗り、現地まで徒歩で移動し「今池」のねぐらを観察します。



上空を飛び交うツバメの群れに歓声

昨年は渡りの途中で各地から合流したと思われる1万5千羽を超えるツバメがタタ焼けをバックに乱舞し、目の前を横切り一斉にヨシの先にとまる姿はきっと夏休みの感動的な想い出になるでしょう。

◇日 時：2025年7月26日（土） 雨天順延 7月27日（日）

◇集 合：午後4時45分に南海高野線「北野田駅」改札口前に集合

北野田駅で午後8時30分頃解散（予定）

※現地へはバスでしか行けません。北野田駅から路線バスに約15分乗車して、美原区「黒姫山古墳前」で下車し、現地（今池のヨシ原）まで徒歩（舗装道路）約15分です。

◇申込み：事前申込み制。7月23日（火）までに電話、ファックス、メール、又はハガキで「住所・参加者氏名・参加者数・電話番号」を下記の申込先へ連絡、又は送付してください。

◇参加費：300円／大人（資料代、保険代）、\*学生・幼児無料

◇持ち物：長袖、長ズボン、雨具、水筒（必要なら軽食）、あれば双眼鏡

◇主 催：地域のツバメ見守り隊・鉢ヶ峯の自然を守る会

◇協 賛：堺野鳥の会

◇申込先：〒590-0143 堺市南区新檜尾台2丁2-4-121 野口隆司 気付

鉢ヶ峯の自然を守る会「ツバメのねぐら入り観察会」係

TEL／FAX 072-299-7406

携帯電話 090-2111-1054

メールアドレス：nt-taka@w5.dion.ne.jp